

# 区民の皆さんと力を合わせて実現しました

日本共産党区議団は、区民生活を守る区政を実現するために、予算審査特別委員会や本会議など区民要求を積極的に取り上げ、提案してきました。平成22年度予算においても、区民のみならず力を合わせて区民要求を実現することができました。

## 認知症グループホームなど3箇所新設にも併設します。



### 認可保育園新設も相次いで実現

特養ホームの待機者が1700人を超え、区民からは、認知症高齢者が安心して暮らせる施設整備を求める声が高まっています。区議団は、少人数で家庭的な認知症グループホームの増設を求め、今年度3箇所のグループホーム新設とともに小規模多機能型介護施設

も併設します。認可保育園に入れないでも緊急整備を」と要求。待機児が増え続け、認可保育園の緊急整備を求め、今年4月開園した公設民営の千田保育園をはじめ、新砂地域にも都有地購入で認可保育園が整備されています。

### 中小業者支援へ借換え融資が実現

長引く不況で苦境におかれている地元中小業者は実施を拒み続けていたが、ねばり強く要求して区議団は、融資の返りを軽減するために、低利の借換え融資制度の創

### 区報・選挙広報など全戸配布に

一般新聞に折りこま6割程度しか配布されて、区民への大切な情報がない実態を示し、区報を提供している区報等や選挙広報、区議会だよりなどの全戸配布を求め、新聞購読者が減少するなかで区民に届かないことが問題となっていました。区議団は、全世帯の

# 2010年度 予算委員会での各議員の質問から

## すがや俊一議員

### 地下鉄8号線(豊洲)住吉間)事業主体は国と都が担うべき



その理由として、莫大な建設費を要する地下鉄建設には、国と都が事業主体となるのが何よりも不可欠だと主張。今後の財政負担協議のなかで、基金創設が区の巨額な財政支出になりにくいという批判がありました。

## 赤羽目たみお議員

### 保育料の負担を減らし、子育て支援の拡充を!



赤羽目議員は、江東区として共働きの子育て世帯への支援として、保育料の引き下げや認可外保育料の補助の増額、低所得世帯や第2子の保育料の無料化を行うよう求めました。区は、「保育料検討委員会を設置して検討していきたい」と答弁しました。

## 大つきかおり議員

### 中国残留邦人への支援事業の拡充求める



中国残留邦人の支援事業として2009年4月に開設された東砂交流センターは、現在、平日のみで5時までは開館していません。大つき議員は、仕事をしている人や二世、三世の方も利用できるよう平日5時以降や土・日にも開館をするよう求めるとともに、すでに自主活動を行なっている中国残留邦人の団体の活動の場としても利用できるよう交流センター事業の拡充を求めました。

## 斉藤信行議員

### 採血による前立腺がん検診を実施せよ



人が増えています。前立腺がん検診を実施して早期発見、早期治療に努めている自治体が増えています。斉藤信行議員は、「23区でも13区が実施し、板橋区では55歳以上から区内100カ所の医療機関で実施している」「江東区医師会も前立腺がん検診を実施すべき」と要望している。区は「成人検診に採血による前立腺がん検診を加えるべき」と求めました。区は「さまざまな課題とあわせて検討していく」と答弁。

## きくち幸江議員

### 地域産業支援に本腰を



菊池議員は長引く不況のもとで深刻な状況に陥っている地域産業支援の強化を求めました。地域産業としての木材やカットガラス・ニット

## そえや良夫議員

### 木造住宅の耐震助成制度の周知を



日本共産党区議団が繰り返して求めてきた、木造住宅の耐震工事に対する助成額の上限が4月から150万円に引き上げられることになりました。しかし、この制度については町場の工務店さえ、十分に知られていません。

## 正保みきお議員

### 職員提案のゴホウビの海外視察旅行見直すべきだ



区長の発案で、職員提案の褒賞として5人の職員チームにヨーロッパ視察旅行が贈られました。正保議員は、「提案は評価できるが、1人80万円の外視察旅行は区民感覚からかけ離れた過度なもの。見直すべきだ」と質問。全体の奉仕者として福祉向上に資する提案や施策を推進するのは本来の職務。「いい提案」のゴホウビに税金での海外視察の中止を求めました。区は、「過度ではない」と答弁しました。



### 商店街連合会・産業連盟・商工会議所と懇談

日本共産党区議団は、昨年に続いて江東区商店街連合会・産業連盟・商工会議所の3団体と懇談し、切実な実態や区に対する要望を伺いました。懇談の中で「先行きが見えず廃業を考えている業者が多い」「木材の振興に力を入れてほしい」等の意見が出されました。



### 江東区医師会と診療報酬、地域医療などで懇談

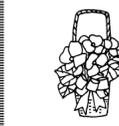
日本共産党の小池晃参議院議員とあせ上三和子都議、区議団は3月10日、江東区医師会と診療報酬改定や地域医療について意見交換を行いました。区医師会からは、子宮頸がん・子どもの肺炎球菌ワクチンへの助成、ヒブワクチンの前倒し実施など医療に対する公費負担増額の要望が出されました。

### 共産提案「中小・零細企業支援の強化を求める意見書」が可決

今議案に、共産、自民、公明、民主の4会派から8件の意見書案が提出されました。そのなかで、共産党提出の「中小・零細企業支援の強化を求める意見書」ほか一件が調整会議での一致を経て、本会議に全員賛成で可決されました。日本共産党提出の意見書は、「中小・零細企業は、資金繰りの悪化や仕事の激減等で経営努力は限界を超え……町工場の家賃が払えずに機械ごと追い出されたり、リース代が払えずに機械が回収される深刻な事態が続発しており、「さらなる中小・零細企業への抜本的な救済策の強化」を国に強く求めるものです。

主 な 議 案	第1回定例会の主な議案に対する態度				
	共産	自民ク	公明	民主ク	市民
平成22年度一般会計予算	●	○	○	○	●
平成22年度一般会計予算に対する修正(共産党提出)	○	●	●	●	●
平成22年度国民健康保険会計予算	●	○	○	○	●
平成22年度介護保険会計予算	●	○	○	○	●
平成22年度後期高齢者医療会計予算	●	○	○	○	●
国民健康保険条例の一部改正(保険料の値上げ)	●	○	○	○	●
江東区みどり・温暖化対策基金条例	○	○	○	○	○
江東区地下鉄8号線建設基金条例	●	○	○	○	○
江東区「特別区道」道路占用料等徴収条例の一部改正条例	○	○	○	○	○

区長から42件の議案が提出され、日本共産党は30件に賛成、12件に反対しました。



区議会日程(予定)	5/26	6/1
臨時本会議	5/26	6/1
請願・陳情締切	5/26	6/1
本会議	6/1	6/1
本会議	6/1	6/1
企画総務委員会	6/1	6/1
厚生委員会	6/1	6/1
建設委員会	6/1	6/1
区環境委員会	6/1	6/1
文教委員会	6/1	6/1
清掃港湾・臨海部対策	6/1	6/1
防災・まちづくり対策	6/1	6/1
南北交通・放置自転車	6/1	6/1
医療・介護保険制度	6/1	6/1
本会議(最終日)	6/1	6/1